始弘賞展運営事務局
2020 年 8 月 8 日

〈報道関係各位〉

若手作家の活動を支援。審査員に寺田農氏・土方明司氏

「第 1 回 始弘賞」嶋村有里子氏が大賞に決定

9 月 28 日（月）より受賞記念の個展を開催

表参道に長年ギャラリーを構え日本画壇を支える有力な画家たちの展覧会を企画・開催してきた始弘画廊（代表：平山幹子）。常に画家達を支え、ともに活動を続けてきた始弘画廊は開廊から 33 年を迎えた。昨今の新型コロナウイルスの影響で展覧会の開催もままならぬ状況の中、始弘画廊は日本の文化の発信に貢献し、精力的に制作を続ける若手作家の活動を支援するために「始弘賞」を創設した。

7 月 26 日には俳優の寺田農氏と平塚市美術館館長代理の土方明治氏、始弘画廊の平山幹子・平山俊信による審査が行われ、第 1 回始弘画廊大賞に嶋村有里子氏（1979 年、静岡県生まれ）が決定した。嶋村氏は油彩画を中心に作品を発表する傍ら、舞台美術や空間演出、装丁など幅広い活動を展開している。大賞の嶋村氏は正賞として 9 月 28 日から始弘画廊企画での個展を開催するとともに、副賞として 100 万円が授与される。

■大賞受賞者

・嶋村有里子

《花と骨》2019 年　油彩、キャンバス　50 号 F

〈受賞者プロフィール〉

しまむら・ゆりこ／1979 年静岡生まれ。日本大学芸術学部美術学科卒業。2005 年第 50 回シェル美術賞松井みどり審査員賞。09 年文化庁新進芸術家派遣研修員としてスペイン・バルセロナに渡西。帰国後は都内ギャラリーを中心に油彩作品を発表する傍ら音楽イベントに携わり、舞台美術や空間演出・アートワークを担当するなど幅広い活動を展開している。主な個展に「雨期」ハナエモリ・ギャラリー(東京)、「湖」高輪画廊(東京)、「夏の日」鎌倉ドゥローイングギャラリー（神奈川)、グループ展では「フランス・ヴェロンで制作する作家達」一宮市三岸節子美術館(愛知)／Veron(フランス)等がある。現在、日本大学芸術学部美術学科非常勤講師、立軌会同人、ヴェロン會同人。

〈受賞コメント〉

この度は、栄えある第 1 回始弘賞にお選びいただき、誠にありがとうございます。
油絵の具の持つ力強い物質感、その美しさに魅了されて、今日まで描いてきました。
心を込めて描くこと、色彩と造形、ひたむきさ。
私自身、絵を描く時に最も大切にしているこの三点をご評価頂けたことは何よりの喜びです。
受賞のご連絡を頂き、何処かで誰かが見てくれている、想いが伝わっている、ということに、じんわりと感動すると共に、絵画の持つ可能性を改めて感じています。
コロナ禍という特異な状況の中、このような賞を創設してくださった始弘画廊様に改めて感謝申し上げます。（嶋村有里子）

〈審査員選評〉

最近の若手のアーティストは技術的にものすごく達者だが、どうも頭で描いている絵が多すぎるように感じる。そうした中で、嶋村さんは描きたいものを心で描いているところに共感した。（寺田農）

嶋村は風景や植物を独自のフォルムと色彩で描いてきた。どの作品も対象への執拗な観察により、緊張感と生気に溢れたものとなっている。その独自性と、近年の発表作の充実振りを評価し、始弘賞に推薦する。（土方明司）

絵に力があり、またひたむきな制作態度に好感がもてる。画家として人を惹きつける魅力が備わっている。やはり心に強い信念を持っているからこそ描ける絵なのだと思う。（平山幹子・平山俊信）

■審査員

寺田農／てらだ・みのり
俳優。画家・寺田政明の長男として 1942 年 11 月 7 日に生まれる。東京都出身。1961 年、文学座付属研究所に入団。1968 年、映画『肉弾』で主演を務め、その年の『第 23 回毎日映画コンクール』で主演男優賞を受賞。2007 年より板橋区立美術館運営協議委員会会長。08 年より東海大学文学部特任教授。現代の美術作家や評論家とも関係が深く、美術に深い造詣をもつ。

土方明司／ひじかた・めいじ
1960 年東京生まれ。練馬区立美術館の立ち上げに従事。鳥海青児展、靉光展、松本竣介展、山口薫展、三岸好太郎展、池袋モンパルナス展ほか多数の展覧会を実施。2004 年より平塚市美術館勤務。「画家たちの 20 歳の原点」「画家の詩・詩人の絵」「写実のゆくえ」「空間に線を引く」など独自の視点から日本近代美術史を見直す企画を行う。現在、平塚市美術館館長代理、武蔵野美術大学客員教授、AICA 会員。

■始弘画廊

文化に対して高い関心を寄せていた代表・平山幹子の、昼休みに社会人がふらりと立ち寄って本物の美術品に触れる場を提供したいという強い思いから表参道駅のすぐ近くに昭和 62 年 11 月にオープンした。開廊を記念した天野三郎、司修、張替眞宏、福島瑞穂、馬越陽子、森秀雄のグループ展を皮切りに、日本画壇を代表する作家たちの展覧会を継続して開催してきた。今年、創立 33 年を迎え、近年は若手作家の育成に力を入れ、その一貫として 2020 年に始弘賞を創設した。

■「始弘賞」概要

表彰　　：◇大賞（1 名）嶋村有里子　　正賞（始弘画廊で個展開催）・副賞 100 万円

審 査 員 ：寺田農、土方明司、平山幹子、平山俊信

対象作家：平面・立体などジャンルは不問

受賞者個展：2020 年 9 月 28 日（月）～10 月 10 日（木）

個展会場：始弘画廊（港区南青山５-7-23、電話番号：03-3400-0875）

お問い合わせ先：始弘賞運営事務局 03-6914-6960

大賞受賞者や各審査員、作品画像などのデータが必要な方は、以下までお問合せください。また、大賞受賞者、各審査員へのインタビューも可能です。あわせて以下、報道関係のお問合せ先までご連絡ください。

＜画像等、報道関係者のお問い合わせ先＞
始弘賞広報事務局（株式会社アルテヴァン内）　担当：庄司
Tel: 03-6914-6960 / Fax: 03-6914-6964
E-Mail：　info@arte-vent.com